

議員全員協議会

日 時	令和2年7月13日(月) 閉会中	8時52分 開会 9時45分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 中野康子 副議長 15番 大井俊彦	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	7番 名波喜久	8番 植田博巳 9番 村田博英
	10番 良知義廣	11番 澤田隆弘 12番 鈴木千津子
	13番 太田佳晴	14番 大石和央
欠席議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、建設理事、企画政策部長、総務部長 政策監、市民生活部長	
傍 聴		

署名 議長

[午前 8時52分 開会]

開会の宣告

○議長（中野康子君）

ちょっと早いんですけども、皆様おそろいでございますので、始めたいと思います。

今回の九州豪雨でお亡くなりになられた方、また人吉市の方のご冥福、それと先般の吉田町での火災でお亡くなりになられた皆様に対しまして、謹んで黙祷をささげたいと思いますので、皆様ご起立をお願いいたします。

それでは、黙祷はじめ。

[黙 祷]

○議長（中野康子君）

おなおりください。ご着席ください。

それでは、ただいまより全員協議会を始めます。

2 市長報告

○議長（中野康子君）

市長報告からお願いをいたします。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さん、おはようございます。私からは、臨時の全員協議会開催に当たりまして、7月17日、金曜日の臨時議会提出議案の概要、それから吉田町で発生いたしました火災の事故、そして人吉市への職員派遣の3点について、報告をさせていただきます。

それから最後に人吉市派遣職員からの先遣隊の報告を行いますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、まずはじめに、臨時議会提出議案の概要について、ご説明をいたします。

最初に、補正予算第6号の概要でございますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域経済の活性化を図るためのR I D E O N M A K I N O H A R Aスタンプラリー事業や、G O - T O M A K I N O H A R A誘客キャンペーン事業などによる経済対策をはじめ、茶生産者や宿泊業者等への経営力強化支援、児童福祉施設や小中学校などにおける継続的な新型コロナウイルス感染症対策を計上しております。

さらに、ひとり親世帯への臨時特別給付金や、一人当たり10万円を給付した特別定額給付金の給付基準日、4月27日の翌日以降に生まれた子供への子育て応援特別給付金、あるいはG I G Aスクール構想による小中学校の児童生徒への1人1台端末の整備などを計上させていただきました。

これらの補正額は4億3,045万1,000円となりまして、補正後の歳入歳出予算額の総額は270億8,650万1,000円となります。地方創生臨時交付金の第2次配分のほか、国、県からの補助金を財源として、緊急に予算措置を講ずる必要がある施策を盛り込んだものでございます。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国の緊急経済対策のもと、たびかさなる補正予算を提出するものでありますが、感染症の拡大防止と、低迷する地域経済と市民生活の支援、そして新たな生活様式に対応すべく、全力を挙げて取り組んでまいりますので、ご理解とご支援をお願いするものでございます。

それから、相良地区放射線防護施設等の用地の取得につきまして、財産取得に関する議決を求める議案を上程いたしますので、こちらについてもご審議のほどをよろしくお願いいたします。

詳細につきましては、あすの常任委員会合同協議会において、それぞれ担当からご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

次に、吉田町川尻で発生した建物火災の事故についてでございます。7月5日、日曜日、午前1時35分に発生をいたしました、吉田町川尻の建物火災での事故についての報告をいたします。

出動した吉田消防署の消防隊員3名と、牧之原警察署の警察官1名が建物内に侵入した後、2時7分に爆音と黒煙が立ち込め、2時17分、無線音信が途絶えた後行方不明となり、同日15時55分に1名を、同56分に3名を心肺停止の状態で見つかりました。

亡くなられた4名は吉田消防署の萬年彰人消防指令、金原敬訓消防指令、森西雄也消防士長。牧之原警察署の関口孝隆巡查長で、森西消防士長につきましては、牧之原市白井にお住まいの方でございました。

火災消火中の事故によって殉職されましたことに、非常にやるせない気持ち。本当に残念な気持ちでいっぱいでございます。

昨日は、12日の日曜日でございますが、静岡地域消防運営協議会の臨時会を開催させていただいて、火災と事故の概要と、ご家族へのサポート等についての報告を受けた後、議案といたしまして、第三者を入れた事故調査委員会の設置、消防葬を行うこと、また構成3市2町の首長との連絡体制の強化、ホットラインの設置を決定し、臨時会を終了いたしました。

臨時会終了後には、火災現場において献花を行ってまいったところでございます。

亡くなられました4名の皆様のご冥福をお祈りするとともに、再発防止の徹底を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

そして、3点目でございますが、熊本県人吉市との災害時応援協定に基づく職員派遣についてであります。このたびの熊本豪雨災害では、友好都市であります人吉市が甚大な被害を受けました。

人吉市とは平成23年の10月7日締結の災害協定に基づきまして、牧之原市から災害応援等の経験を有する職員4名を7月7日から10日までの四日間、先遣隊として派遣をしたところであります。

派遣の目的といたしましては、被災以降、不眠不休で対応する職員の支援に加え、状況等の把

握及び今後の対策や必要物資の確認など、牧之原市への情報伝達等を行うためであります。現地では入ってくる支援物資の受け取りや管理に手が回っていない状態でありましたことから、支援物資の仕分け作業や台帳を整備するところからお手伝いしたところでございます。

松岡市長との10日時点での話では、市内8か所の避難所に約1,200名の方が避難している状況ということであります。これから避難所運営、そして罹災証明の発行、災害ごみ等への対応など、マンパワーが不足しているということを伺っておりますので、第2陣を送ることといたしました。

第2陣につきましては、罹災証明発行のための被害調査を支援する、あるいは固定資産評価等の税務経験のあるものと、災害派遣の経験者、職員5名をあす14日から、20日の月曜日までの1週間、派遣をすることといたしました。

また、第3陣以降の派遣につきましては、全国知事会への派遣要請を現在人吉市が行っております。

こうした県の派遣体制等の状況を見ながら、人吉市との協議の中で検討をしております。

それから、市民からの人吉市からの義援金の対応についてであります。7月9日の木曜日から榛原庁舎、相良庁舎、さざんか、榛原文化センター、い〜ら、老人福祉センター龍眼荘の6か所に義援金の募金箱を設置し、随時人吉市へお届けしていく予定であります。

今回の先遣隊では、市民団体と市役所職員互助会からお預かりした義援金をお届けをしたところであります。

それでは、人吉市の現地の状況等につきまして、隊長として派遣をしまして、糸田浩之市民生活部長から報告をさせます。

失礼しました。少し訂正をお願いします。

先ほどの補正額でございますが、補正額は4億3,045万1,000円でございます。歳入歳出予算の総額が270億8,650万1,000円という話をさせていただきましたが、6,000円でございますので、よろしく願いをいたします。

私からは以上でございます。

○議長（中野康子君）

市民生活部長、お願いいたします。

○市民生活部長（糸田浩之君）

それでは、熊本県人吉市球磨川氾濫に伴います、牧之原市からの職員第1陣ということで行ってきましたので、報告をさせていただきます。

まず、お手元に全員協議会資料ということでホチキスどめのものと、あとA3判の球磨川洪水ハザードマップのみかたということで、こちらをおわけさせていただいております。よろしく申し上げます。

我々第1陣、4名行かせていただきました。出発から皆様に本当にご心配等いただきまして、本当にありがとうございます。無事、4人とも帰ってきましたので、ここに報告させていただきます。

派遣期間としては7日から、そして10日の金曜日までということで行かせていただきました。

派遣人数については4名ということで、私をはじめ、都市計画課の植田総括主幹、そして税務課の清水総括主任、そして防災課の西原総括主任ということで、4名の者で行ってきました。

球磨川の状況というか、人吉市さんの被害状況というものを、少し目で確認をさせていただくのに、このハザードマップが非常にいいかなと思って、これをおわけをさせていただきました。

こちらは人吉市さんの災害避難地図ということで、洪水のハザードマップになっております。こちら、想定が二日間で440ミリの想定での球磨川の洪水ハザードマップになっておりますけれども、今回はそれこそ1日で440ミリ以上が降ったということで、今このハザードマップに色がついているところよりも、かなりもう少し大きい範囲での浸水がされている状況でございます。

本当にこの地図上で、右側が上流で左側が下流のほうになりますけれども、さらにこの下流域には球磨村というところがあります。そちらのほうも、かなりひどい状況になっているという状況でございます。

本当に人吉市さん、これでもちょっと小さいものですからあれなんですけれども、吹き出しで「赤は防災拠点施設を表しています」というものと、「球磨川沿線にある防災拠点と連絡先が分かります」という、このちょうど吹き出しの真ん中のところに緑のところがあるかと思えますけれども、この緑のところ、人吉市役所の別館になります。主に市民部が入っているということで、今この横のところに、新しい庁舎を熊本地震で被災して建てかえるということで、この横に今新しい庁舎を建設しております。ちなみに、令和4年6月ぐらいからの供用開始を目指すということで、この横につくっております。

この別館と、新しい庁舎のほうは高い位置にございますので、洪水の被害を何とか逃れたということになります。

ここから上のほうに行ってくださいますと、川を渡って、鉄道がちょっとわかるかと思えますけれども、この鉄道の駅があります。これが人吉駅になります。

実際、この人吉駅から球磨川のところ、この沿線がいわゆる温泉街になっておりまして、観光客の皆さんを受け入れる施設等がたくさんあるところなんですけれども、商店街等もあります。

沿線ですから、この地域が非常に大きい打撃を受けておりまして、コロナ対策からやっとオープンしたという旅館とかそういったところも、この洪水でまた被害に遭われて、いつ再開できるかわからないという状況になっているという状況でございます。

今、人吉駅から川のほうに行ってください、沿線に赤いところがありますけれども、これは国交省の施設なんですけれども、この辺が青井地区というところございまして、青井阿蘇神社というところ、国宝のところがありますけれども、そちらのほうの神社についても、高さ5メートルぐらいの階段を上がって境内がありますけれども、そこまで水がいつまでかかっているという状況でございます。

後ほど、この写真のほうを見ていただくと、マイクロバスとかそういったものが、写真のこのめくっていただいて、1枚上のほうがちょうど神社の前の人吉旅館とかいう、本当に有名な旅館

になりますけれども、そのところの状況でございます。マイクロバスが傾いたり。その道を挟んで前、これは神社の前の池になりますけれども、こちらにマイクロバスとか車とかが入っているということになっております。

沿線沿い、非常に大きな打撃を受けているということでございます。地図上で見ていただくと、「球磨川が氾濫したときに想定される水深を表しています」ということで吹き出しが出ておりますけれども、その吹き出しの横に青いところがあるかと思っておりますけれども、ちょっと見えなくて申しわけないんですけれども、こちらは人吉スポーツパレスというところでございます。文化センターとか、そして体育館とかがあるところでございますけれども、今こちらを人吉市は別館とともに仮の本庁舎ということで活用しております。

ここに大きな体育館がございますので、一番多くの人数、700名を超える避難の皆さんが来ております。

これを見ると、浸水はしないようになっているんですけれども、色がついてないんですけれども、実際は浸水をして、災害対策要員で職員が来て車をとめてあった、その車については使い物にならないような状況になっています。

水が引いた後に我々行ったので、車を置けたりということで、ただ、庁舎とか避難所となる体育施設、文化センター施設については床下だけですみましたので、被害自体はなかったということで、今も活用できているという状況でございます。

こちらのレジメのほうに戻っていただきますと、そういう大きな被害の中で、死者のほうなんですけれども、ここには4のほうで18名、心肺停止1名ということで書いてありますけれども、心肺停止の方も死者ということで、19名の方が現在亡くなられているということでございます。

あと、安否不明者ということで18名書かせていただいております。連絡がとれないという方がまだいらっちゃって、大阪府警とか愛知県警からも警察官が救援に来て、ローラー作戦で安否確認を行っているという状況でございます。

ただ、携帯とか電話というものが、僕らが行ったときにはもう復活をしておりましたけれども、それ以前に、ソフトバンクはまだだめだったんですけどね。そういった形で、連絡がとれないということで18名の方がまだ連絡をとれていないという形になっておりました。

住宅被害としましては、床上で3,775、床下で906棟ということで、まだ本当にはっきりした全容調査はされていない中での概要になりますけれども、4,600ほどの被害があったということでございます。

ちなみに、人吉市につきましては、6月末の時点で人口が3万1,932ということで、3万2,000人ほどでございます。世帯数とすると、1万5,538世帯ということでございます。1万5,538ということでございますので、そのうち4,600以上の世帯については何らかの被害があったということになりますので、それでなくても、いろいろな被害があったということでございます。

主にふるさと納税等で助けていただいております、球磨焼酎の蔵元が人吉市には9件ございます。そのうち3件については、何とか被害はなかったようなんですけれども、大和一さんと

織月さんとかいうところ、有名なところがございますけれども、そちらのとはもう本当に川に近いので、蔵まで入ってしまったということで、今後どうしていこうかということで非常に困惑していたということは聞いております。

商店街のほうも、商工会のほうとか経済部とかにも寄らせていただいて話を聞かせていただいたんですけども、まだ片づけに忙しくて全容調査ができていないということでございました。ただ、聞いたところによりますと、700事業所以上は被害を受けたと。被害額としては100億を超えてしまうのではないかというようなことも、お話がありました。被害としてはそういう形でございました。

市役所の職員も市民の皆さんとともに一生懸命頑張っていました。ある係長さんについては、4徹ということでしたから、被害から4日間寝ずに頑張っているというようなことも聞いております。

避難勧告を、3日の23時頃には避難勧告を発令されたということなんですけれども、夜中の23時ということで、あと明け方5時近くになって避難指示も発令をされておりますけれども、残念ながら19名の方がお亡くなりになってしまっているという状況でございます。

それから、職員の皆さん、一回帰ったりはされてはいますが、避難所等については、やっぱり24時間ということで張りついていますので、現在8か所の避難所を開いております。福祉避難所を1か所追加したということで、12日の日曜日の朝方現在だと、全部で福祉避難所を入れて9か所になりますけれども、1,263名の方が避難をされているということがございます。やはり、交代でということになりますので、24時間態勢で3交代ぐらいの交代をするということで、皆さんやっております。

あと、20日ぐらいを目標にということで市役所のほうは言うておりましたけれども、罹災証明の発行になりますけれども、そういったものをやっていきたい。ただ、市民の皆さんには日がはっきり決まりましたら連絡しますということでのお知らせしか出してないんですけども、市役所のほうでは20日ぐらいを目標に何とか罹災証明を発行していきたいということで、これからあるということで、10日ぐらいから、我々が帰ったあたりから準備をされるということで聞いておりました。

やはり、それでも市民の皆さんは復旧復興へということで、頑張りたいということで、濡れた災害ごみの搬出等をやりたいということで頑張っていらっしゃるんですけども、災害ごみを工場誘致の、そのところに1か所選定をして行っております。そこが非常に広いところでいい場所なんですけれども、ただ、1か所ということと、あと洪水等によって整地も必要だということで、非常に受付時間が短いということで、我々が行っていたときには、午後1時から4時までという非常に3時間程度しかなかったものですから、渋滞ということで、非常に困っているということも聞いておりました。

ただ、いろいろなものを一緒の状態載せて、それで持っていくものですから、おろすのに非常に時間がかかってしまうものですから、それで時間がかかってしまうということも言うており

ました。

まぜれば遅い、分ければ早いというようなことを松岡市長も皆さんに周知をしていきたいということをおっしゃっていただきましたけれども、しっかり分けて持っていくことを周知するということが徹底するというふうにおっしゃっていただきました。

これから罹災証明、職員の皆さんも非常に、ほぼ24時間勤務の方もいらっしゃるということで、疲弊をされていることになりますので、また第2陣等も含めて、しっかり支援することができて、人吉市民の皆さんの復旧復興に役立つことができればと思っております。

ちなみに、我々は7日から入らせていただきましたけれども、人吉市さんと姉妹都市をされている指宿市さんがいらっしゃいますけれども、指宿市さんも同じように支援のほうに来ていらっしゃるって、たまたまこの土日に鹿児島県知事選挙があったものですから、その二日間は来れないよということで、今週からまた指宿市さんも支援に来るということをおっしゃっていただきました。

あと、青年市長会つながりということをおっしゃっていただきましたけれども、大阪の泉佐野市さん、ふるさと納税で有名になりましたけれども、そちらの泉佐野市さんもタオルがあそこは発祥地ですから、タオルを積んで二人でお見えになって、物を持ってきて、そのまま1週間ほど支援をしていくということで、お二人ほどいらっしゃいました。

やはり、物資のほうの受け入れも今までとめていたんですけれども、そういう形でどんどん入ってきてしまうものですから、我々が行ったときに、物資をどうして集積するかというようなところが非常に困ってましたので、助けてほしいということでおっしゃっていただきましたので、我々が物資の集積所の立ち上げから、どうして払い出しとかそういったものもしていったらいいよというものも、少しアドバイスをさせていただきながら、やらせていただいたということがございます。

初日に、市民団体であります相良灯籠流しの会の支援金と互助会のものを直接市長さんにもお渡しすることができました。

県のボランティア協会からも陸路でタオルを持ってきていただいて、静岡県のボランティア協会の皆さんからタオルを陸路で直接搬入をされました。そういったところも、市長さんと事務局長さんとお話をされて直接手渡すことができましたので。

あと、市役所の職員の皆さんにということで、防災課のほうで用意していただいた、いろいろな身体を拭くシートとか、マウスウォッシュとか、そういったものも非常に喜んでいただきました。

あと、ペットボトルを郵送で送っていただき、宿についたものを持って行きました。職員の皆さんは、支援物資は来るんですけれども、やっぱり職員の皆さんはなかなかもらえない部分がございますので、職員用ということで差上げたことによって、本当に何からなにまでありがとうございますということで、お喜びの言葉をいただいたという状況でございます。

むこうの総務部長からいただいた資料によりますと、この4日付で県を通じて全国にいろいろな関係で150名ほどの人的支援がほしいということで、まだまだおっしゃっているということでございますので、できる限りの手助けをしてあげたいということで行った身では思う限りでござ

います。

あと、義援金なども受け付けるということでございますので、ぜひともご協力をしていただければと思っております。

報告としては以上でございます。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。大変な思いで派遣をしてきてくださいます、細かな情報がわかりつつあって、ありがとうございました。

それでは、市長の報告、それとただいま桑田部長からお話がありました件で、ご質問がありましたら、どうぞよろしくお願ひします。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それでは、市長報告と市民生活部長の報告の件を終わらせていただきます。本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。

3 委員会報告 （1） 議会運営委員会

○議長（中野康子君）

それでは、委員会の報告に移らせていただきます。

議会運営委員長のほうからお願いします。

鈴木千津子議員をお願いします。

○12番（鈴木千津子君）

7月7日、議会運営委員会を開きました。このことにつきまして、今、市長が説明していただきました臨時議会について、議案とスケジュールについて、また総務部より簡単に説明を受けました。

日程につきましては、皆様のところには資料としましては、スケジュールと議案の表が入っておりますが、これを見ていただきまして、14日、あしたですが、文教の合同協議会の後に、この議案の配付となります。

失礼いたしました。先に議案の配付をして説明いただいて、その後に文教合同協議会となります。

そして、臨時会ですけれども、17日、これは全協の日になっておりますけれども、先に朝9時から臨時会を行って、その後に全員協議会となります。

簡単ですけれども、スケジュールとしては、そのように決まりました。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

ただいまの件はよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

4 協議事項 (1) 人吉市への支援について

○議長（中野康子君）

それでは、協議事項4番のほうに移らせていただきます。

人吉市への支援についてということでございます。

人吉市とは友好姉妹都市を旧相良町時代から結んでおります。それと、災害応援協定も結んでいるということから、皆様からご意見をいただき、どのような支援ができるのかを、ちょっと皆様お考えいただいて、ご意見いただければというふうに思います。よろしく願いいたします。

議運の委員長、この間、議運の委員会のほうで、皆さんとちょっとお話ししたことなんかをしていただけたらいいかなと思うんですけれども。

鈴木千津子議員。

○12番（鈴木千津子君）

議運のほうでも、議会として何ができるか、議員として何ができるかということで、方向だけでも話し合おうかということになりました。

これまでも義援金を出しているところがありますので、記憶が定かではありませんので、こちらに皆さんのところに、お手元に災害に関する義援金ということで、これは一覧表を出してありますが、これまでは私たちが全て覚えているわけではないんですけれども、1万円から、多いときで3万円とか、2万円とかあったのではないかとということで、お話ししました。

事務局でわかる範囲内で、このように資料をつくっていただきました。とりあえずは、まずは議会としてもできることなら考えたほうがいいのか。その後でまた、議会としてできることはまた協力していったほうがいいのかということになりましたので、金額、その他につきましては、ぜひ皆さんの中でお決めいただくということになっておりました。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。議運の委員長からただいま報告がございましたけれども、皆さんのご意見を伺いながら支援の形を決めたいというふうに思います。

義援金の表をつくらせていただいておりますが、どうぞご意見をお願いいたします。

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

ちょっとすみません。これ、義援金等についての資料ですけど、金額単位はこれ、どうして見ればいいんですか。330円とかね。

○議長（中野康子君）

これは手数料ですね。

東日本大震災のときは、全国議長会のほうからの要請で、たしかお送りしたものですから、こちらのほうへ送ったものですから、その手数料だったというふうに記憶しております。

○6番（藤野 守君）

これ、3万5,040円とか、これは単位は何ですか、これは。

○議長（中野康子君）

円です。

○6番（藤野 守君）

円ですか。そうですか。

○議長（中野康子君）

福島県の南相馬支援のときは、結局市長さんがお米がないという、お米が足りないということをおっしゃったものですから、議会として、お米を持って、自然薯、それからおみかんを持って伺いました。それで、こういった金額になっているというふうに思います。

良知議員、東日本大震災のときの義援金の部分を覚えていらっしゃいますかね。

○10番（良知義廣君）

義援金でやって、一人1万ぐらいだったと思うんですけども。

○議長（中野康子君）

私の記憶によると何かたくさん、1期生でありました良知議員、それから澤田議員、それからもうあとお二方が、この東日本大震災のときに現地のほうへ赴いて、いろいろ視察をすぐしてきてくださって、大変な被害だということで、たくさんのお金を出していただいたような記憶がありますのでね。

○10番（良知義廣君）

4人で10万だったような気がしますけどね。

○議長（中野康子君）

何か、私は記憶がもっとたくさん出していただけたような気がいたしておりますけれども。

大石議員。

○14番（大石和央君）

私の記憶だと、一律1万円ではなかったかと思うんです。個々で、先ほど言われたように、現地に行かれて、それぞれ義援金なりボランティアなり、あるいは支援なりと、物資を持っていくというようなことをやっていたいというふうな記憶です。私もその一人ですけれども。

○議長（中野康子君）

いかがでしょうか。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

お金で解決する問題では決してないんですけども、やはり友好姉妹都市ですし、これまでの災害等でも送ってきたように、市議会として友好姉妹都市に義援金を送りたいと思います。それ

に当たっては、やはり議員一律で送ったほうがいいのかなど。志のある方は、また別途個人的にされる方もいらっしゃると思うんですけども、市議会全体で送るという形になると、やはりばらつきがあるよりは一律で定額を皆さんで協議した中で、額を協議した中で一律で送るほうがいいのかと思います。

○議長（中野康子君）

いかがでございますか。

原口議員。

○3番（原口康之君）

私も皆さんの意見と同じように、一律の義援金を送るのがいいのかと思います。

○議長（中野康子君）

そのほかにいかがでしょうか。

濱崎議員。

○2番（濱崎一輝君）

私も、やるのであれば、牧之原市議会として、全員という形で、金額も一律にしたほうがいいのかと思っています。

○議長（中野康子君）

では、金額は今別として、皆さん一律でお送りしたいという形をとらせてもらってよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それで、金額のほうをどのようにいたしましょうか。皆様からご意見をいただきたいと思いません。

言にくいですけども、率直に。

濱崎議員。

○2番（濱崎一輝君）

今までの話を聞いていくと、一人1万円ぐらいという話がありますので、一、二万円ぐらいということで、どうでしょうか。

○議長（中野康子君）

原口議員。

○3番（原口康之君）

私も、何かいろいろな今のお話を聞くと、普通の支援のときで大体1万円ぐらいということで、今回ずっと関係のあった都市だということで、1万円ではちょっとあれなのかなと考えます。

○議長（中野康子君）

鈴木長馬議員。

○1番（鈴木長馬君）

私は、1万円では義援金はちょっと少ないじゃないかと思しますので、その辺、皆さんで検討していったほうがいいと思います。

○議長（中野康子君）

皆さん、ご意見が今出ておりますけれども。

植田議員。

○8番（植田博巳君）

私は、1万円で16人で16万という形でお送りしたらいかがかなと思っております。それこそ、豪雨被害災害義援金ということで、手数料のところに書いてあるその他の欄に、義援金1万円×16人集金というような形もありますので、そのほうがいいのかなと。

あと、全国市議会議長会からどのような要請が来るのかということのもあると思しますので、出すのだったら、一人1万ということでいいのかなと思います。

○議長（中野康子君）

いかがでしょうか。

村田議員。

○9番（村田博英君）

金額の話というか、今言った全国市議会の状況やら、ちょっと見ていただいて決めていただければと思うんですがね。

○議長（中野康子君）

ただいま、いろいろご意見を出していただきました。全国市議会議長会のほうからですと、かぶった場合には、もうお送りしましたというような形をお知らせしてもいいものですから、この間、議運のほうで少し方向性を決めさせていただいたのは、第2陣が14日に出発しますけれども、第3陣にできれば持って行っていただくような形がいいのかなというようなお話を少しさせていただいておりますので、その辺ぐらいが、義援金を集めさせていただくにはいいかなというふうに、ちょっとお話をさせていただいておりますけれども、いかがでございましょうか。

名波議員。

○7番（名波喜久君）

今、義援金で云々ありますけれども、第2陣か3陣で持っていくというような案もあるということで、ただそれはいいけれども、むこうとして受け取りに、手続とか事務的に負担のかかるようなことになってはいけないから、その辺もちょっとむこうと確認していかないと、やるなら。それも進めていきたいと思うし、それともう一つは、県、国からのいろいろな助成、支援関係なんかが発生すると思うけれども、その辺もよく見て行って、実際にはこの義援金だけで済むものではないし、今後のおつき合いの関係もあるものだから、それを十分にやっていくような方策を伝えておかないといけないなど、そんな気もしまして、義援金については1万円は、すぐやるかどうかは、それは後に話すとして、そういう方向でどうかと、そういう気もします。

○議長（中野康子君）

義援金を手渡した団体もございますので、そういったことを考えても、市議会として差し上げさせていただきたいと思っておりますので、その部分を考えまして、第3陣の方に持っていただく。この間は第1陣の方に持っていただいたということでございますので、その辺も考えて、議運のほうで方向性を出させていただいておりますけれど、いかがでしょう。

金額非常に決めがたいですけど、皆さん今、大体1万円と出ておりましたけれども、そんな形にいたしましょう。どうしますか。どうしましょうか。

大井議員。

○15番（大井俊彦君）

私の個人的な考え方なんですけれども、相手が友好姉妹都市であるということ、また災害協定も結んでいるという状況の中で、非常に関係も深い相手方だというふうに思っていますので、皆さんから今、1万円というようなご意見も出ておりますけれども、そういう状況ですね、関係の深さというのも鑑みながら考えると、1万円プラスアルファぐらいというか、そういうふうな気持ちも私はしていますので、今出ている1万円プラスアルファということで、2万円ぐらいという、私は個人的にはそんなふうな考え方を持っておりますけれども、非常に金額のことですので、皆さんの総意でやっぱり決めていくほうがいいと思いますので、またほかのご意見もあるかと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（中野康子君）

吉田議員。

○4番（吉田富士雄君）

私も、やはり姉妹都市ということであって、きりのいいところでなくても、20万とか30万とかあって、そういう形のほうがいいじゃないかなとちょっと感じたものだから。

○議長（中野康子君）

一律じゃなくて。

○4番（吉田富士雄君）

一律です。

○議長（中野康子君）

一律で。そうすると、1万円だと16万円ですよ。

○4番（吉田富士雄君）

20万なら、端数になるけど。

○議長（中野康子君）

それでもいいよという形ですか。了解いたしました。

鈴木長馬議員。

○1番（鈴木長馬君）

大体、30万くらいにすると2万円に近づくものだから、総額で見たらその辺と思うんですけど、

どうでしょうかね。

○議長（中野康子君）

ただいま、2万円ぐらいはどうだというお話がございましたけど。

こういう案も議運のほうでお話させていただきました。1万円を皆様に出していただいて、そして互助会のほうにお金が少し30万ほどあるものですから、その中で1万円プラスして、2万円の形にして出してもいいかねというような話をちょっとしてもおりましたけれど。

大石議員。

○14番（大石和央君）

それぞれ気持ちですので、別途また支援をしていくということもできるので、とりあえず言われたように、互助会が30万ということでありますので、20万議会からということで、どうなんでしょうね。

○議長（中野康子君）

20万円を議会からということですか。

○14番（大石和央君）

互助会費を使う。

○議長（中野康子君）

互助会のほうから。

議員は、今回は出さずに。

○14番（大石和央君）

先ほども言ったように、それぞれ支援というのはできると思うんですね。

僕がちょっと気がかりだったのは、酒蔵がだめになったんだけれども、ただ、瓶詰されているものは、これは市販はなかなか難しいとは思いますが、そういうのを引き取って何か支援できるんじゃないかというようなことがあるので、その辺をちょっと聞いてもらいながら、そういう部分をやっぱり引き受けるというような形をとってもいいんじゃないかなというふうなこととか、いろいろあるんじゃないかというふうに思いますので。

以上です。

○議長（中野康子君）

ただいま、大石議員からご提案いただきましたけれども、そのような形でもよろしいでしょうか。

皆さんいかがですか。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

いいですか。

それでは、ただいまご提案をいただきました、互助会のほうから牧之原市議会として20万円を送らせていただく形にさせていただきます。

そしてまた何か、そういった応援ができれば皆さんにご協力していただくというような形をとらせていただきたいと思います。

それでは、そのような形にさせていただきます。ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

そのほかに何かございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

よろしいでしょうか。

それでは、以上で議員全員協議会を終わります。

〔午前 9時45分 閉会〕